



第 2 章

計画の実現に向けて

—— 個別施策 ——

心を育む教育と文化

施策 1 乳幼児教育の充実

教育努力目標

乳幼児教育の充実・推進

計画の目標

家庭・地域、保育所や幼稚園、認定こども園が一体となり、質の高い乳幼児教育・保育を推進します。



課題や求められていること

乳幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎や、その後の義務教育の基礎を培うという視点から非常に重要なものです。しかし、核家族化、地域との繋がりの希薄化が進み、孤立し、不安な気持ちで子育てをしている親が増えています。次代を担う子どもたちを、たくましく、心豊かで創造性あふれる人に育てるため、家庭、地域社会がそれぞれの役割と責任を果たしつつ、さらに一体となって取り組むことが求められています。

1 家庭や地域での教育力の充実

主な取組

- ★ブックスタート事業の充実
- ★ファミリープログラムによる家庭教育支援
- 家庭教育学級の普及・支援・充実
- 親子教室・子育て研修会等の開催

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
家庭教育学級の開催数 (乳幼児)	3 回	24 回
「ファミリープログラム」を導入した研修会等の実施回数 (乳幼児)	2 回	12 回





教育努力目標

自他の幸せのために
より良い未来を創り上げる
資質や能力の育成

計画の目標

学校での学びにより子どもたちが自他の幸
せのために、より良い未来を創り上げる資
質や能力を育成します。

1 基礎・基本の定着と活用力の向上

課題や求められていること

これから社会が、どんなに変化して予測困難になっても、より良い未来を創り上げるために「生きる力」が必要です。学校で学んだことを未来に活かそうとする「学びに向かう力」や「人間性」、どのような状況にも対応できる「思考力」「判断力」「表現力」を育成していく必要があります。

- ・学んだことを未来に生かそうとする「学びに向かう力」や「人間性」などを育成します。
- ・社会や生活で生きて働く「知識」及び「技能」を育成します。
- ・どのような状況にも対応できる「思考力」「判断力」「表現力」を育成します。
- ・これらを実現するための教育環境を構築します。

主な取組

★一人一人に目が行き届く指導の充実

「わかる授業」を実践するために、少人数指導、TT(チームティーチング)などによる児童生徒の能力や実態に応じたきめ細かな教育を推進します。

★ながよ検定の充実

基礎学力の向上に向けて、町独自の検定テキストを毎年作成し、「漢字」「計算」「英語」のながよ検定を実施します。クラス全員が「ながよ検定に合格する」という目標をもって学習することで、基礎学力の育成と進んで学ぶ姿勢を育成します。

●主体的・対話的で深い学びの推進

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を実施します。

- ・一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業
- ・見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- ・周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

このような授業を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、子どもたちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学びを続けられるようになることを目指します。

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
全国学力・学習状況調査において「学校に行くのは楽しい」と回答した割合(小学生)	90.5%	基準値より上昇
全国学力・学習状況調査において「学校に行くのは楽しい」と回答した割合(中学生)	90.6%	基準値より上昇

2 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実

課題や求められていること

配慮を要する児童生徒が増加していることから、学校における日常生活上の補助や学習活動上のサポートを行うため、特別支援教育支援員を全ての小中学校に配置しています。今後さらに個に応じたきめ細かな指導が展開できるように、各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育の充実に取り組んでいきます。

主な取組

★特別支援教育の充実

- ①特別支援学級の設置(小学校5校、中学校3校)
- ②通級指導教室の設置(小学校5校、中学校3校巡回による指導)
- ③特別支援教育支援員の配置
- ④校内支援体制の整備充実(個別の教育支援計画・指導計画の作成、校内支援委員会開催、職員研修、特別支援教育コーディネーターの設置、関係機関との連携)

3 豊かな心の啓培

課題や求められていること

友人関係、家庭環境等、多様な課題を抱える児童生徒、不登校傾向の児童生徒に対して、適切な対応が求められています。学校の教職員、適応指導教室指導員、学校教育相談員の連携を一層強化し、情報共有を図りながら支援体制の強化を図る必要があります。

主な取組

★道徳教育・人権教育の充実

道徳科を要とした道徳教育を充実させるとともに、「長与の子の心を見つめる教育週間」をさらに推進します。

★スポーツ・文化活動の推進

体力向上と運動嫌いの防止のため、ランニング・縄跳びの時間の確保や、読書活動の推進。

★いじめなど心の問題に対応する取組の推進

「長与町いじめ防止基本方針」及び各学校の「学校いじめ防止基本方針」を策定し、その方針に則り、いじめの予防、早期発見に努めています。教職員による観察や情報交換を心掛け、子ども達には道徳の授業等でいじめを許さない風土作り、雰囲気作りを指導しています。

いじめを発見した場合においても、組織的に対応し、第一に、子どもを守るという姿勢で、慎重に協議を重ね、いじめが解消されるまで丁寧に対応をしていきます。

★不登校ゼロを目指す取組の推進

適応指導教室を開設し、学校に行けない子ども達に対して専任の指導員が指導を行っています。学校の担任、学校教育相談員、外部機関とも連携し、段階的な学校への復帰を支援します。

4 健康安全教育の推進

課題や求められていること

国内外の新型コロナウイルス感染症の感染状況を見据えると、長期的な対応が求められる状況です。こうした中でも、持続的に児童生徒の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していかなければなりません。

主な取組

感染症や熱中症から身を守り、健康で安全に生活する力を育む健康安全教育や災害時に生き抜く力を育む防災教育を推進します。また、食に関する正しい知識と習慣が身に付くよう、指導を行います。

●感染症の防止 ●熱中症の防止 ●防災教育の推進 ●食育の推進

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
防災訓練実施校数 (各校平均)	3回	3回
家庭に対する食育情報提供回数 (各校平均)	8回	10回

5 国際化に対応できる人材の育成

課題や求められていること

中学校1年生で長与町英語による国際コミュニケーション活動(通称NICE)に参加し、実際に外国人と英語を用いて交流することで、コミュニケーションの楽しさを実感し、もっと話したい、もっと伝えるために英語を学びたいという気持ちが高まります。英語を学ぶモチベーションを高め、更に実践できる場を増やしていく必要があります。

主な取組

★英語教育の充実

- ①外国語指導助手の配置(各中学校に1名ずつ配置)
- ②ながよ検定(英語)の実施

★国際交流の推進

- ①長与町英語による国際コミュニケーション活動(NICE)の実施(夏休み)

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
標準学力調査(英語)において、 目標値より町内3中学校の平均が上回っている値(中学1年)	8ポイント	10ポイント
標準学力調査(英語)において、 目標値より町内3中学校の平均が上回っている値(中学2年)	9.7ポイント	10ポイント
長与町英語による国際コミュニケーション活動(NICE)後に、 「もっと英語を勉強しようと思った」生徒の割合が95%を上回った中学校数	2校	3校

6 地域と連携した教育の推進

課題や求められていること

令和2年度から「学校運営協議会制度」を導入したコミュニティスクールを町内全ての小学校で実施しているので、学校と地域との組織的な連携が更に必要となります。

主な取組

★コミュニティスクール(学校運営協議会)の推進

町内全ての小学校で、地域コミュニティの役員やPTA、教職員からなる協議会を設立し、学校と地域との組織的な連携を進め、地域とともにある学校づくりを推進します。

★ふるさとキャリア教育の推進

地域の産業・職業にまつわる教育や起業家教育など、教育現場等における「ふるさとキャリア教育」を進めます。

- ①地域の現状を知り、課題を見つけて解決する力を育てるキャリア教育
- ②起業家教育

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
地域人材を活かした授業コンテンツ数 (各校平均)	9件	12件



7 教育環境の充実

課題や求められていること

安全・安心で時代にふさわしい環境づくりのため、老朽施設・設備の計画的な更新を図るほか、ICT教育環境の整備を進める必要があります。また、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育の質的向上をもたらす統合型校務支援システムの活用を推進します。

主な取組

★学校ICT教育の推進と環境整備

GIGAスクール構想による、1人1台の端末整備及び高速大容量の通信ネットワークが一体的に整備されたことから、今後、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を目指します。

●統合型校務支援システムの活用推進

校務支援システムの推進については、個人情報の取扱いに十分留意し、紙媒体から電子データでの管理に移行させることで、事務負担軽減に取り組みます。また、統合型校務支援システムを利用することで、ペーパレスでの情報共有が可能となるため、システムの活用推進を全教職員で取り組む必要があります。

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
月80時間を超える勤務者 (小学校)	13人	0人
月80時間を超える勤務者 (中学校)	99人	0人

●安全・安心な学校施設の維持・管理

施設の現状把握に努め、優先順位をつけ計画的に施設の改修を行い、効率的な事業の遂行に努めます。

●老朽施設・設備の計画的な更新

学校施設は防災拠点施設として指定されていることから、耐久性、耐震性の確保は重要な課題です。

施設の老朽化に伴う不具合も多く発生しているため、コストを計画的に投入し、老朽箇所の改修を随時実施しながら、施設の長寿命化を図る必要があります。

①老朽施設・設備の計画的な更新

長与小学校体育館改修工事(令和3年度予定)

長与南小学校体育館改修工事(令和5年度予定)

②トイレの洋式化

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
トイレの洋式化	52.7%	70%

8 教職員の資質向上

課題や求められていること

新たな時代のニーズや課題に対応できる教職員の資質向上を図るため、情報活用能力向上研修等の開催に努めます。さらに、危機管理を学ぶリスクマネジメント研修や未来の教育に関する研修会を開催する必要があります。

主な取組

- ICT教育に関する研修会の開催
- リスクマネジメントに関する研修会の開催
- 未来の教育に関する研修会の開催

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
研修会の年間参加回数 (平均)	1.97 回/人	3回/人

施策 | 3 青少年の健全育成

教育努力目標

家庭や学校、地域が一体となった青少年の健全育成

計画の目標

家庭や学校、地域が一体となった青少年の健全育成を進めます。

4 質の高い教育を
みんなに



課題や求められていること

次代を担う青少年の健全育成のために、発達段階に応じ、家庭・学校・地域社会等がそれぞれの役割を自覚しながら連携を深め、十分な方策を講じていく必要があります。

本町では、コミュニティスクールを中心に地域総がかりでの教育に取り組み、家庭、学校、地域が一体となった青少年の健全育成を進めます。

1 健全な環境づくり

主な取組

- コミュニティスクールの体制及び活動の充実
- 青少年の健全育成活動の実施(夜間パトロール、立入調査等)

2 家庭の教育力の向上

主な取組

- ★すなおで元気な長与っ子を育むために「家庭教育10か条」の推進
- ★「ファミリープログラム」を導入した研修会等の充実
- ★メディア安全指導の充実

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
家庭教育学級の開催数 (小・中学校)	32 回	37 回
「ファミリープログラム」を導入した研修会等の実施回数 (小・中学校)	15 回	24 回
メディア安全指導の実施回数	12 回	16 回

3 青少年の社会活動への参画促進と指導者の育成

主な取組

- 多様な社会活動等への参加促進
- ジュニアリーダーの育成

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
子ども会育成会連絡協議会リーダー登録者数	7人	10人

施策 4 生涯学習の推進

教育努力目標

学びあう心を育てる
生涯学習の推進

計画の目標

誰もが居場所と役割を持つことができる
「生涯活躍のまち⁵」を実現するため、「生涯学習のまちづくり」を進めます。

4 質の高い教育を
みんなに



課題や求められていること

この先の人口減少局面においても活気にあふれ、温もりのある地域を維持していくためには、誰もが居場所と役割を持つ「生涯活躍のまち」を創っていくことが求められており、「生涯学習」は、欠くことができないテーマです。多様化するニーズを踏まえ、生涯学習の基盤となる各種講座や学級等の生涯学習推進体制の充実を図りながら、学習施設の維持管理と社会教育関連団体の育成・支援に努めます。また、身近な学習の場、交流の場を兼ね備えた新たな生涯学習の拠点となる新図書館づくりに取り組みます。

1 生涯学習推進体制の整備

主な取組

- 生涯学習に関する情報発信の充実
- ★生涯学習の各種講座・学級等の開催
- 自主サークルの活動支援とネットワーク化
- 電子図書館の充実
- 県立大学シーボルト校や県立長崎高等技術専門校等と連携した事業・講座等の開催

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
公民館講座の受講者数 (実人数)	1,542 人	1,600 人
自主講座 (サークル) 数	237 団体	250 団体
町民 1 人あたりの図書貸出冊数	5.5 冊	6.0 冊

2 生涯学習関連施設の整備

主な取組

- ★新図書館の整備推進
- 公民館など既存施設の維持管理

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
公立公民館等 (6施設) の利用者数	115,143 人	116,000 人

3 学校教育と連携した社会教育の推進

主な取組

- コミュニティスクールの運営に基づく地域学校協働活動の支援・充実

4 社会教育関係団体の育成・支援

主な取組

- 各種研修活動等の開催支援
- 各種団体の指導者間のネットワークの構築

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
講師リスト登録者数	106 人	130 人



5：年齢や障がいの有無等を問わず、移住者や関係人口、地元住民等を対象とした誰もが居場所と役割を持つコミュニティづくりを目指すもの。

施策 | 5 生涯スポーツの推進

教育努力目標

健康で活力ある町民を育てる
生涯スポーツの推進

計画の目標

町民が気軽に参加でき、生きがいや健康づくりの意識の高揚を図る生涯スポーツを推進します。



課題や求められていること

スポーツを「する」だけではなく、「みる」「ささえる」など多様な参画からスポーツ人口を拡大し、スポーツを生活の一部とすることで、心も体も健康で楽しい人生が送れる環境づくりが求められています。

1 スポーツ・健康まちづくりの推進

主な取組

- ★スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防に向けた取組の推進
- 軽スポーツ⁶・ニュースポーツ⁷の普及
- 健康づくりのための各種講座の開催

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツ施設利用者数 (小・中学校施設を含む)	350,100 人	368,000 人
スポーツ講座の参加者数	1,955 人	2,060 人

2 スポーツ大会・教室の充実及び参加促進

主な取組

- 生涯スポーツに関する情報発信の強化
- ★各種スポーツ大会・スポーツ教室の開催
- ★大村湾を活かした海洋スポーツの推進

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツイベント参加者数	8,104 人	9,300 人

3 スポーツ団体・指導者の育成

主な取組

- ★スポーツ団体等の育成
- 体育協会・長与スポーツクラブ・各種競技団体等への支援
- スポーツ推進委員や指導者の発掘・育成と指導者組織の充実

4 スポーツ環境の充実と有効活用

主な取組

- 老朽施設・設備の計画的な改修
- 予約管理システムの適正な運用



6：他のスポーツに比べて、比較的負担のかからないスポーツのこと。

7：一般的に、勝ち負けにこだわらず、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由楽しめるスポーツのこと。

施策 | 6 文化・芸術の振興

教育努力目標

心豊かな郷土を育む
文化・芸術の振興

計画の目標

文化財をはじめとする地域文化の保存・活用を図りながら、町民が主体的に参加できる文化・芸術環境を創造します。



課題や求められていること

芸術や学問などの精神的活動をはじめとする文化や郷土芸能などの地域ごとに世代を通じて伝承されていく文化は、人々が心豊かに生活していくために、また、地域の活性化を図る上で欠かせないものです。これからも文化に親しむ機会を充実させることが重要となるため、さらなる地域文化の保存・活用が求められています。

若い世代の減少により、郷土芸能の継承が難しくなっている現状が見られますが、本町が所有する有形・無形文化財をはじめとする多様な文化的資源の保存や活用、町民の文化・芸術活動の支援を行い、鑑賞機会の充実を図りながら、多様な文化・芸術のまちづくりを進めます。

1 文化財の保存・活用

主な取組

- 文化財(有形、無形、史料等)の保存・活用
- 各種講座等を通じた文化財に関する理解と郷土愛の育成
- ★郷土芸能の後継者育成・支援

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
遺跡巡り参加者数	25 人	40 人



2 文化・芸術環境の創造

主な取組

- ★文化活動・教室等の普及・支援
- 文化・芸術団体の育成
- 文化・芸術の鑑賞・発表機会の充実
- 文化施設等の適正な維持・管理

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
町民文化ホールの利用者数	35,914 人	42,000 人
町民文化祭の参加者数 (延べ)	5,290 人	6,300 人



3 地域文化の振興

主な取組

- 図書館や陶芸の館等を活用した地域文化の情報発信と各種プログラムの実施
- 各種講座等を通じた歴史等に関する理解と郷土愛の育成

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
陶芸の館利用者数 (陶芸講座参加者含む)	2,108 人	2,600 人
歴史等に関する講座参加者数 (延べ)	145 人	200 人

施策 | 7 人権の尊重

教育努力目標

支え合える社会をつくる
人権・同和教育の推進

計画の目標

全ての人々の人権が尊重される社会をつくれます。



課題や求められていること

県民意識調査では、人権侵害をされたと思った時の対応として、多くの人が公的な機関に相談できず「だまっただけで済んだ」と回答しています。このように依然として社会的弱者にまつわる様々な人権問題が存在しており、不安を抱えていたり、生きづらさに悩んだりしている人がいます。相談しやすい環境を整えるとともに、周囲の人達に対する教育・啓発を一層推進し、支え合える信頼関係と体制づくりを行うことが必要です。

1 人権・同和教育、啓発の推進

主な取組

- 家庭教育学級等による人権意識の啓発
- 人権作文・標語コンクールの開催
- 各種機関・行事・講座等における子どもの人権教育の充実
- 西彼杵郡人権教育研究大会の開催
- 「ながよ人権12か月」の配布による啓発
- 学校教育における人権教育の充実

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
家庭教育学級における人権教育の開催数	5回	8回

8 平和意識の高揚

教育努力目標

恒久平和の発信と
平和意識の高揚

計画の目標

核兵器の廃絶と「紛争と戦争のない世界の
実現」を目指します。

4 質の高い教育を
みんなに



課題や求められていること

被爆後75年以上が経過し、原爆を体験した方が少なくなっている中で、体験の継承が困難になっています。被爆の体験を語り継ぎ、真の平和を希求する想いを、世代を超えて共有し、一人一人の身の回りから平和の実現に取り組んでいくため、今後も平和事業の実施により、平和意識の高揚に努めます。

1 平和意識の高揚

主な取組

- 平和学習の推進
- 平和コンサートの開催

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
平和コンサートへの参加者数	568 人	750 人